

令和4年度 第2回山口地域職業能力開発促進協議会 概要

1 開会あいさつ（名田山口労働局長）

2 出席者紹介

出席者名簿により構成員の紹介

3 議事（進行：川村議長）

（1）地域の人材ニーズ等について（資料1により各構成員から説明）

①国立大学法人山口大学（平尾構成員：教育・学生支援機構学生支援センター、教授）

②公立大学法人下関市立大学（小原構成員：リカレント教育センター長、准教授）

③山口県中小企業団体中央会（坂本構成員：専務理事）

④学校法人YIC学院（宮本構成員：YIC学院社会事業本部長）

（2）令和5年度における公的職業訓練実施計画の策定について（事務局：松村室長）

「資料2 令和5年度山口地域職業訓練実施計画（案）」により説明

令和5年度山口地域職業訓練実施計画（案）について、構成員から承認を得た。

本計画に基づき、次の2点を重点に実施することを確認

①デジタル分野の職業訓練実施機関を確保し、観光・サービス分野における人材を育成するとともに、社会変化に対応したカリキュラムの見直しを適宜行い、地域の企業が必要とするIT技能を使える人材の育成

②高齢者向けの訓練コースの拡充

（3）公的職業訓練効果検証ワーキンググループの進め方について

「資料3 公的職業訓練効果検証ワーキンググループの進め方」により説明

効果検証を実施する訓練分野は、「IT分野（デジタル分野を含む）」に、また、ワーキンググループの進め方について、構成員から承認を得た。

（4）その他

・リスキリングの推進について（説明者：山口県労働政策課、山田主幹）

「資料：机上配布資料 2 地域におけるリスキリングの推進に関する地方財政措置について」

4 閉会（山崎商工労働部労働政策課長あいさつ）

5 主な意見・質疑

◎訓練計画を推進するにあたり、DX推進に係る人材育成のための訓練に関して、事例を踏まえて、実践的でわかりやすい内容にすることが必要ではないか？

◎マクロ的なデータの収集、分析を行って、一般的な傾向を明らかにしたのち、その傾向を

踏まえたミクロな分析としてヒアリング方式による分析を行ってはどうか？